

T2FD 10m長／6m短縮形ワイヤーのレポート

de JA1RIZ

性能としては、3.5～28MHzの同調はセット内臓のオートチューナでSWRが低下して使いものになります。1.9MHzはMFJのT型チューナを使用して使用可能。

各バンドのSWRは次の通り。(T2FD)

No	バンド	SWR
1	1.9	2.0
2	3.5	2.0
3	7	1.7
4	10	2.5
5	14	2.0
6	18	2.3
7	21	1.5
8	24	2.0
9	28	2.7

実際の使用感は、日曜昼間7、10MHzは聞こえているところはほぼ飛んでいる感じ。14UPも大丈夫そうです。

日曜夜のT2FDでは3.5MHzで3(奈良)のみ、1.9MHzノイズのみでほとんど聞こえず！からぶりでした。もう少しじっくりやってみる必要があります。

土曜夜間の状態は、ワイドバンドワイヤー(約6m長)での1.9MHzは、Φ(佐渡)、7(山形)エリアはできたが、2(愛知)、6(佐賀)は取ってもらえなかった！です。このANTもT2FDと同じようなVSWR(2前後)でした。

いずれにしても広帯域・短縮タイプのアンテナですから、同調形アンテナと比較すると効率は低下しています。高い位置にビシッと展張すれば、それなりの性能を発揮してくれると思うのですが…。ロケの良い所で、標準ダイポールと比較してみたいと思っていますので又レポートしたいと思います。

以上